

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月15日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	恵那市	代表者名	小坂 喬峰
担当者部署	危機管理課	連絡先電話番号	0573-26-2111
担当者役職	主査	担当者氏名	原 和彦
住所	509-7292 岐阜県恵那市一丁目1番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市瀬 英夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	前回の打合せ内容を基に、こちらの要望をわかりやすく反映した研修資料を作成いただいた。また、こちらの研修受講環境に配慮いただき、スムーズな実施方法についてご提案いただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月10日	13時30分	14時30分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員がICTに関する基礎知識が乏しいこと、自治体を取り巻くICTの動向を知らないことにより、業務及び施策に上手くICTを活用できない。また、コロナ禍でこうした職員全体に対する研修の効果的・効率的な方法を知りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	国が推進するデジタルガバメント及び自治体DXを我が市が進めていくため、職員がBPRや業務標準化の必要性を学び、住民利便性を考慮したコストパフォーマンスの優れたシステム導入やクラウドサービスへの移行を職員が意識し取り組めるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	庁内ICT推進研修の打合せ ・講演動画内容の作成、確認 ・スムーズな研修実施のアドバイス	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演内容、事前準備及び当日進行を確定することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・講演動画の内容追加、変更(市瀬様)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員に対する講演会の実施	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

